

(別紙様式2) 利用学習報告書

平成28年4月23日

仙台市富沢遺跡保存館 館長 様

仙台市立小松島小学校
校長 堤 英俊
担当 第6学年 佐々木 貴幸

「縄文の森広場」利用学習報告書の提出について

表記の件について下記の内容で提出いたします。お取り計らい方よろしく申し上げます。

記

1 事後指導について

(1) 実施日

- ・ 平成28年4月18日(月) 3校時

(2) 主な内容

- ・ 社会科 (2時間)「縄文のむらから古墳のくにへ」

2 送付する資料

(1) 児童生徒の学習後の感想(9名分)

(2) 教師の感想等(1点)

3 個人情報保護との関連

提出した資料中の児童生徒については、個人名は伏せてA男、B子と表現しております。お取り計らい方よろしく申し上げます。

担当：第6学年 教諭 佐々木 貴幸
TEL 234-1354 FAX 234-1356
Email s-taka22@sendai-c.ed.jp

児童の学習後の感想

- ・ 竪穴住居を見て、この時代の人たちの生活が分かりました。（A男）
- ・ 竪穴住居は、木で囲まれ、風も防げて、思ったよりも快適そうでした。（B男）
- ・ 遺跡をたくさん見ることで、昔の人がどうやって暮らしていたのか等が分かり、良かったです。（C子）
- ・ 石器作りは初めての体験だったので楽しかったです。（D男）
- ・ 縄文時代はスーパーなどがなくて、全て自分たちで食べ物を手に入れなければならず大変そうでした。（E男）
- ・ 竪穴住居の中で、魚を干すことを知りびっくりしました。（F男）
- ・ 縄文人のことをいろいろ知ることができました。また行きたいと思いました。（G男）
- ・ 竪穴住居を見たとき、こんな建物で寒さや雨風に耐えられるかなあと思ったけど、入ってみると意外と外よりもあたたかくてびっくりしました。（H男）
- ・ 捨て場（貝塚）からは、その時代のことを知れるたくさんの物が見つかるということを聞き、おもしろかったです。（I子）

教師の感想

6年生になってすぐの校外学習でした。歴史学習の導入として行い、児童の意欲づけとなり大変良かったです。児童は、様々な道具を見ながら、食べ物など自分たちの暮らしとの違いや当時の人々の知恵に興味を持つことができました。また、実際に、竪穴住居の中に入って見たことで、その時代の人々の生活感を体感することができ、絵や資料などでは学べないこと良さを確認することができました。土器作りでは、指導員やボランティアの方々にきめ細やかにアドバイスをいただきながら、楽しく活動する児童の姿が数多く見られました。ありがとうございました。